

令和 4 年第 4 回 定例市議会

行政報告

北海道恵庭市

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

本市における感染者の発生状況についてであります。多くの感染をもたらした第7波の勢いが落ち着きを見せ、感染者数は一時減少傾向となりましたが、10月下旬からは再び増加に転じており、特に北海道においては急激に新規感染者数が増加していることから再拡大の局面に入ったものと思われま。

このような状況にあつて、本市におきましては、感染拡大防止の徹底と社会経済活動の両立に向け、追加のワクチン接種を進めるとともに、給付金事業、商品券事業等を円滑に実施するなど、様々な新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいるところであります。

これまでの主な取組について個別に申し上げます。

【新型コロナウイルスワクチン接種について】

まず、新型コロナウイルスワクチン接種についてであります。

本年10月から、初回接種を完了した12歳以上の方へのオミクロン株対応ワクチン接種を開始いたしました。10月21日からは接種間隔が5か月から3か月に短縮されたことから、接種機会が到来する方に対し順次接種券を発送するとともに、接種規模の拡大を図るため11月2日に「恵庭市新型コロナウイルスワクチン接種センター」を開設するなど、迅速に接種体制の確保を図ってきたところであります。

また、生後6か月から4歳までの乳幼児の初回接種について国から方針が示されたことから、市内医療機関の協力をいただきながらワクチン接種を実施しているところであります。今後も国からの方針をもとに適切に対応して参ります。

【物価高騰に伴う
低所得世帯への支
援について】

次に、物価高騰に伴う低所得世帯への支援についてであります、
電力などのエネルギーや食料品等の価格高騰に対する家計への支援の
ため、住民税非課税世帯に対し5万円、課税世帯のうち住民税の所得割
の額が1万円以下となる世帯に対し2万円の給付を実施して参ります。

【物価高騰に伴う
医療機関等事業者
への支援について】

次に、物価高騰に伴う医療機関等事業者への支援についてであります
が、
市では、物価高騰による経常的な支出が増加する市内の医療機関、介
護福祉施設、障害福祉施設等の事業者が、コロナウイルス感染症防止対
策を講じ、安定したサービスが提供できるよう、施設規模に応じて支援
して参ります。

【新型コロナウイ
ルス及び物価高騰
に係る経済対策に
ついて】

次に、新型コロナウイルス及び物価高騰に係る経済対策についてであ
りますが、
新型コロナウイルスに加え、原材料等の価格高騰による影響により落
ち込んだ市内経済の循環・回復を目的として、「えにわワクワク商品券」
事業を実施しているところであります。商品券の発送につきましては、
11月5日から開始し、市民の皆様には受取り後、順次ご利用いただい
ているところであります。

さらに、10月以降に出生又は転入された方々に対しましては、12
月末を基準日として対象者を再抽出し、1月中に対象世帯へ商品券を
発送する予定であります。

なお、利用期間につきましては、令和5年3月31日までとなっております。

以上が本市における新型コロナウイルス感染症対策の主なものとなり
ますが、感染の再拡大が予想される中、これから冬を迎え、季節性イン

フルエンザとの同時流行が懸念されております。本市としましては、感染を防ぐ取組を徹底するとともに、市民の皆様には基本的な感染防止行動の実践への理解と協力をお願いしつつ、関係機関とも連携しながら、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んで参ります。

マイナンバーカード出張申請サポートイベントについて

次に、マイナンバーカード出張申請サポートイベントについて申し上げます。

9月から10月にかけて、商業施設やイベント会場に来場する市民を対象とした出張申請サポート事業を、フレスポ恵み野及び「シン・えにわん産業祭」で実施し、合わせて613件の申請をいただいたところであります。

今後も本事業を継続するほか、事業者や地域へ出向く「出張申請支援」を実施するなど、マイナンバーカードの申請受付機会の拡大を図りながら、普及促進に努めて参ります。

骨髄バンクドナー普及啓発事業について

次に、骨髄バンクドナー普及啓発事業について申し上げます。

骨髄等移植を必要としている方を一人でも多く救うため、骨髄バンク事業やドナー休暇制度などの環境づくりについて普及啓発するため、本年11月10日にセミナーを開催いたしました。市民や関係機関の方々51名が参加し、骨髄等移植の現状や課題、ドナー休暇制度などの環境づくりの必要性について理解が深まったといった感想が聞かれました。

今後も、市民や関係機関等に対し、普及啓発に努めて参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

北海道農政事務所の令和4年産水稻の作付面積および予想収穫量によりますと、作況指数は全道で106、恵庭市を含む石狩管内では107となり、収量・品質とも平年を上回る状況となっております。

他の農作物につきましては、少雨と高温傾向の影響により小麦の収量が平年よりやや下回るものの、青果物については平年並みの状況となっております。

次に、市営牧場についてであります。5月26日、27日に入牧を行い、市内外の酪農家14戸より217頭の乳用牛を受け入れ、10月20日、21日の退牧日まで149日間の放牧を行い生産者へ引き渡しを行ったところであります。

有害鳥獣対策について

次に、有害鳥獣対策について申し上げます。

エゾシカの個体数の増加により、本年盤尻地区において大規模な農業被害が発生したところであります。

今後もエゾシカなど有害鳥獣による農業被害の増加が懸念されることから、市としましては効果的な駆除方法や防除の形態について恵庭猟友親睦会をはじめ農業団体や国などの関係機関と連携し、有害鳥獣対策の強化に取り組んで参ります。

ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会について

次に、ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会について申し上げます。

ルルマップ自然公園ふれらんどは、世代間交流や農村と都市の交流による地域活性化を目的に設置された都市公園であります。

現在、開園から10年が経過しましたが、公園施設の利用人口や利用形態に変化が見られることから、将来にわたり効果的な施設運営となるよう公園施設全体のあり方について改めて検討を行うこととし、10月13日に初回となる「ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会」を開催しました。本会には指定管理者や地元町内会、観光分野の専門家に参加していただき、現状の把握や課題の抽出などについてご意見をいただいたところであります。

今後、年度末までに複数回開催し、施設運営の検証や方向性、施設のあり方などについて整理して参ります。

秋のイベントについて

次に、秋のイベントについて申し上げます。

10月15日に、はなふるの総括管理運営会社である株式会社ガーデンシティ恵庭の主催により、光と水のアート空間を演出する「はなふるアートファンタジア」が開催されました。

当日は、キッチンカーフェスの同時開催もあり、会場となった花の拠点（はなふる）は日中から多くの家族連れで賑わいを見せておりました。

日没になりますと、噴水には色とりどりのLEDライトが散りばめられ、センターハウスのイルミネーションが点灯するなど、幻想的な光の空間が「はなふる」全体を包み、来場者を楽しませておりました。

また、毎年10月に開催されるハロウィンの一大イベントである「えにわハッピーハロウィン2022」が、今年も花の拠点（はなふる）で開催されました。

10月29日から31日の3日間にわたり場内にはたくさんの地元産かぼちゃが飾られ、宝探しやランタン制作、フォトコンテストなど、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

期間中は多数のキッチンカーなどにより、「テイクアウトマルシェ」も開催され、多くの市民にお越しいただき、大きな賑わいとなりました。

ガーデンフェスタ北海道2022の終了後も、「はなふる」を会場に多くのイベントが開催されております。引き続き、はなふるを賑わいのひとつの拠点として市民に楽しさを提供し、地域活力の醸成にも繋がるようなイベントの開催について、市として支援して参りたいと考えております。

ガーデンフェスタ

次に、ガーデンフェスタ北海道2022の検証について申し上げます。

北海道 2022 の
検証について

本年、開催いたしましたガーデンフェスタ北海道 2022 については、このイベントを一過性のものとして終わらせるのではなく、今後のまちづくりへ活かすことを目的として、10月17日と11月18日に「ガーデンフェスタ北海道その後検討懇談会」を開催し、フェアに携わっていただいた方々よりご意見をいただきました。

また、11月14日には、フェア期間中にボランティアとして活動していただいた方を対象とした報告会や、11月22日にはサポーターズクラブ報告会を開催し、それぞれフェアに関するご意見をいただいております。

今後、いただいたご意見などを取りまとめし、フェア後も遺したいものや継続したいものなどについて整理して参ります。

恵庭ふるさと公園
におけるパーク P
F I 事業について

次に、恵庭ふるさと公園におけるパーク P F I 事業について申し上げます。

新たな地域の賑わい拠点として、民間活力の導入を目的としたパーク P F I 事業について、「株式会社コクサク」が進めてきた飲食施設「パークインカフェ・スゥリール」が完成し、9月24日に開業いたしました。

恵庭ふるさと公園における新たな飲食施設の開業は、より質の高い公共空間の創出と利便性や快適性の向上が図られることはもとより、地域コミュニティをつなぎ、次世代に引き継ぐ多くの地域活動の拠点として活用されることを期待しております。

NET 119 整備
事業について

次に、NET 119 整備事業について申し上げます。

聴覚・言語機能に障がいがあり音声による緊急通報が困難な方が、スマートフォン等を活用して画面のタッチ操作や文字入力により緊急通報することが可能となる NET 119 を整備し、本年10月から運用を開始いたしました。

今後におきましても、消防救急体制の充実を図り市民の安全・安心の確保に努めてまいります。

以上、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。